

「認証メール（件名：ドメインアクセス検証）」によるドメイン認証

1. 管理画面「**E/U** 申請情報確認 1」“ドメインの利用権限確認の認証方法の選択”コーナーにおいて、**(b)** を選択してください。

ドメインの利用権限の認証方法の選択（ドメインの利用権限についてはこちら）

証明書毎に米国認証局によりアサインされる固有IDを、お客様のWeb pageやDNSに一時的に設定頂く（設定方法についてはこちら）ことで、お客様の申請ドメインの利用権限を認証します。

上記固有IDによる認証を希望されない場合は、次の認証メールによる方法“b”を選択してください。

a. 申請ドメインのベースドメイン名で検索できるWHOIS公開アドレス

JPRS WHOIS（.jpドメイン）
Go Daddy WHOIS（その他ドメイン）
【EU一般データ保護規則】によりWHOIS公開アドレスが
利用不可となりました。（詳しくはこちら）

【注】こちらを選択するには、WHOIS情報を公開することが必要です。
（ドメイン管理ベンダが提供する情報プロテクションサービスは一時的に解除してください）

b. 次の5つのメールアドレスへの一括同報（一部アドレスの選択は不可）

admin@（ベースドメイン名）、administrator@（ベースドメイン名）、webmaster@（ベースドメイン名）、
hostmaster@（ベースドメイン名）、postmaster@（ベースドメイン名）（詳細はこちら）

⚠ マルチドメイン証明書においては、付帯ドメイン個別に認証方法を区別して選択することはできません。

2. なりすまし排除を目的に、以下のエリアスを持つ **5** つのグループアドレスが有効に設定されているドメインに対し、**それらメールアドレスに米国認証局から電子メールが直送（同報）** されます。

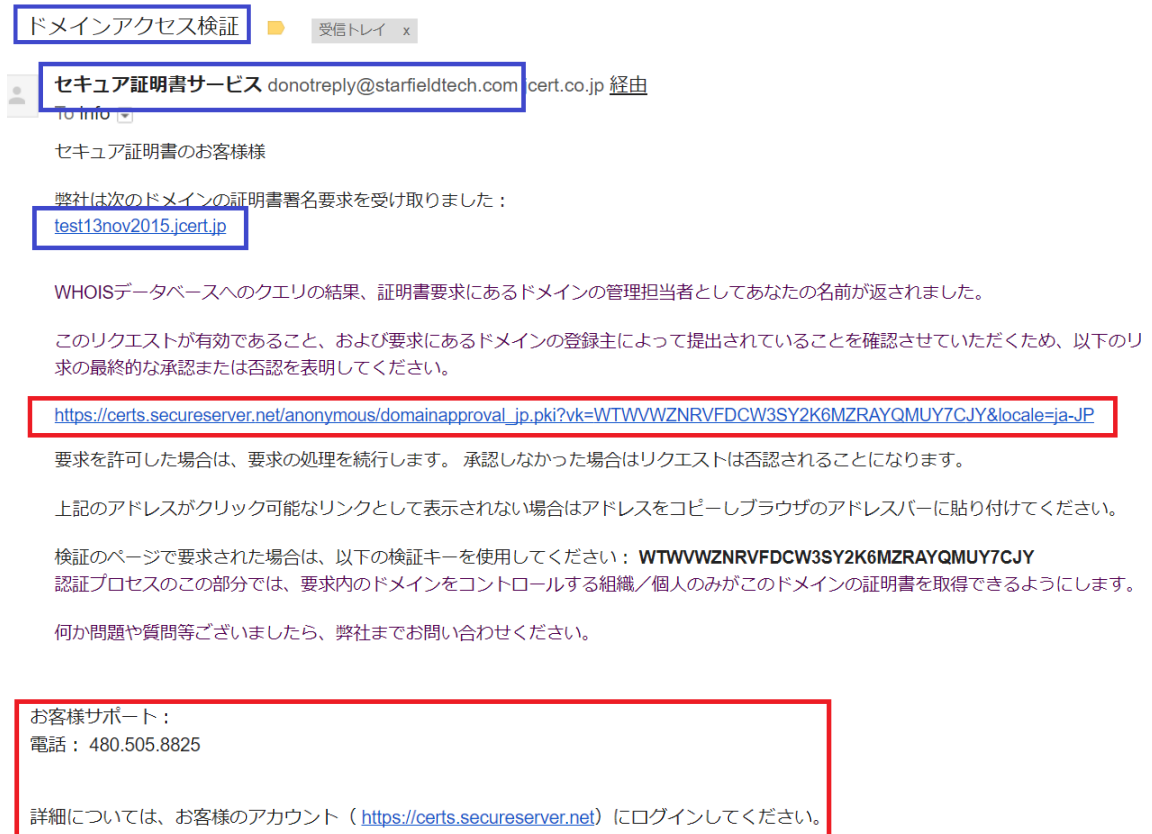
- admin@（ベースドメイン）、administrator@（ベースドメイン）、hostmaster@（ベースドメイン）、webmaster@（ベースドメイン）、postmaster@（ベースドメイン）
- 証明書のCOMMONネームが www.example.jp の場合、admin@example.co.jp 等に送信されます。

- 件名：ドメインアクセス検証
- 発信元：セキュア証明書サービス（donotreply@starfieldtech.com）

いずれか1通の「認証メール」へのご対応にて必要十分です。

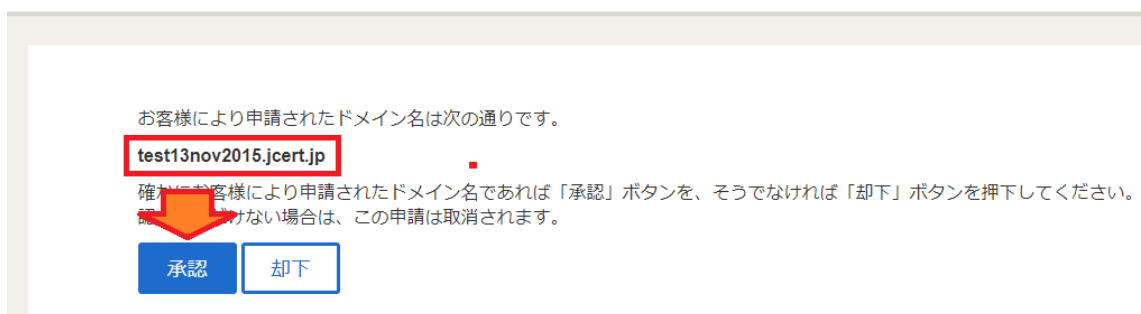
3. 赤枠内リンクをクリックし、そのリンク先画面で「承認」ボタンを押下してください。

(認証メール本文例)



(リンク先イメージ)

ドメインアクセス承認



【注】 申請されたドメイン名が表示されていることを確認してください！

(承認完了画面イメージ)

ドメインアクセス承認

ドメインアクセス承認が完了

お客様のドメイン認証審査は完了しています。リンク元のメールに対する手続きは一切不要ですので、本ページを閉じてください。

4. これで、「ドメイン認証手続き」は完了です。

- ✓ **デラックス SSL、EV SSL** を選択されたお客様は、別途電話確認手続き等が必要ですので、弊社からの更なる案内をお待ちください。